

重要文化的景観選定候補地域における 景観変容期間の特定と特徴的な空間構成の抽出 －大分県姫島村におけるケーススタディ－

Specification of periods based on landscape changes and Defining of characters
on spatial composition in a candidate site as important cultural landscape
－ a case study of Himeshima Village、Oita Prefecture -

大分大学大学院 工学研究科 博士前期課程
建設工学専攻 建築・都市計画研究室
14E5006 野本昂

◆農村集落・離島集落

過疎化の進行、担い手や後継者不足によって生活・生業の継続が困難となり、
過去から現在へ**継承されてきた**各地域の**景観がもつ個性や特徴**が失われつつある

◆2005年 文化財保護法 改正

新たな文化財の一類型として**文化的景観**※が定義される
特に重要なもの **重要文化的景観**として選定される(全国に50カ所(2015年10月現在))

※文化的景観: 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のために書欠くことのできないもの

第一章 序論

◆文化的景観の保全

各地域の**文化的価値を正しく評価**し、地域で護り育むことが大切である
そのため、**景観の変容過程と空間構成を整理**することが重要である

第二章 重要文化的景観制度の概要

- 文化的景観の保護制度
- 重要文化的景観選定までの流れ
- 重要文化的景観制度における本研究の位置づけ

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

- 歴史年表の概要
- 各変容期間における生活・生業の特徴

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

- 古写真の概要
- 構図解析における空間構成の特性

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

- 古写真の視点場の傾向
- 現況写真比較からみる空間構成の変遷

重要文化的景観選定へ向けた有益な知見とする

修士論文の構成

第一章 序論

◆文化的景観の保全

各地域の**文化的価値**を正しく評価し、地域で護り育むことが大切である
そのため、**景観の変容過程と空間構成を整理**することが重要である

第二章 重要文化的景観制度の概要

- 文化的景観の保護制度
- 重要文化的景観選定までの流れ
- 重要文化的景観制度における本研究の位置づけ

制度における
研究の位置づけ

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

- 歴史年表の概要
- 各変容期間における生活・生業の特徴

対象地の景観の
変容過程

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

- 古写真の概要
- 構図解析における空間構成の特性

特徴的な
空間構成

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

- 古写真の視点場の傾向
- 現況写真比較からみる空間構成の変遷

景観構成要素の
変遷

文化的景観の変容過程を解明し、その空間構成の特徴を明らかにすることで、重要文化的景観選定へ向けた有益な知見とすることを目的とする。

第一章 序論

◆文化的景観の保全

各地域の**文化的価値**を正しく評価し、地域で護り育むことが大切である
そのため、**景観の変容過程と空間構成を整理**することが重要である

第二章 重要文化的景観制度の概要

- 文化的景観の保護制度
- 重要文化的景観選定までの流れ
- 重要文化的景観制度における本研究の位置づけ

制度における
研究の位置づけ

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

- 歴史年表の概要
- 各変容期間における生活・生業の特徴

対象地の景観の
変容過程

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

- 古写真の概要
- 構図解析における空間構成の特性

特徴的な
空間構成

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

- 古写真の視点場の傾向
- 現況写真比較からみる空間構成の変遷

景観構成要素の
変遷

文化的景観の変容過程を解明し、その空間構成の特徴を明らかにすることで、重要文化的景観選定へ向けた有益な知見とすることを目的とする

第一章 序論

◆文化的景観の保全

各地域の**文化的価値**を正しく評価し、地域で護り育むことが大切である
そのため、**景観の変容過程と空間構成を整理**することが重要である

第二章 重要文化的景観制度の概要

- 文化的景観の保護制度
- 重要文化的景観選定までの流れ
- 重要文化的景観制度における本研究の位置づけ

制度における
研究の位置づけ

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

- 歴史年表の概要
- 各変容期間における生活・生業の特徴

対象地の景観の
変容過程

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

- 古写真の概要
- 構図解析における空間構成の特性

特徴的な
空間構成

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

- 古写真の視点場の傾向
- 現況写真比較からみる空間構成の変遷

景観構成要素の
変遷

文化的景観の変容過程を解明し、その空間構成の特徴を明らかにすることで、重要文化的景観選定へ向けた有益な知見とすることを目的とする

第一章 序論

◆文化的景観の保全

各地域の**文化的価値を正しく評価し**、地域で護り育むことが大切である
そのため、**景観の変容過程と空間構成を整理する**ことが重要である

第二章 重要文化的景観制度の概要

- 文化的景観の保護制度
- 重要文化的景観選定までの流れ
- 重要文化的景観制度における本研究の位置づけ

制度における
研究の位置づけ

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

- 歴史年表の概要
- 各変容期間における生活・生業の特徴

対象地の景観の
変容過程

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

- 古写真の概要
- 構図解析における空間構成の特性

特徴的な
空間構成

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

- 古写真の視点場の傾向
- 現況写真比較からみる空間構成の変遷

景観構成要素の
変遷

文化的景観の変容過程を解明し、その空間構成の特徴を明らかにすることで、重要文化的景観選定へ向けた有益な知見とすることを目的とする

第一章 序論

◆研究対象地：大分県姫島村

- ・大分県北東部に位置する約20万年前の火山活動により形成された一島一村の瀬戸内海の離島(図1)
- ・【島内の産業】黒曜石採取、農業、漁業、塩田業、畜産業、車えびの養殖業、商業など **多様な生業の変遷**によって現在の景観が形成され、現在も生業の多くが継承されている
- ・姫島七不思議に関連する景観も存在する(観音崎にある千人堂、姫島灯台下にある阿弥陀牡蠣など)

2013年 日本ジオパーク 認定

2014年 **重要文化的景観選定**を目指して活動が展開



図1 対象地の位置



図2 観音崎と千人堂



図3 北浦漁港

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

- ・景観の変容過程を整理
- ・景観の変容期間を抽出
- ・「原風景形成期※」を特定

※文化的景観の骨格が築かれたと考えられる時期

景観変容期間を区分(以下はその条件)

- ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされた時期
- ②『全体』に関連して『生業』が変化した時期
- ③ 主産業が終息または発展した時期

時代	西暦	全体	生活	生業	景観変容期間
原始	—	部島の黒曜石が中国地方へ運ばれる			① 原風景形成期
古代	712年	古事記に部島が載る			
中世	720年	日本書紀に比売諸賢社が載る			
	1489年	大友水軍の本拠地の一つだった			
近世	1610年	「生業」の基盤整備がなされる			
	1712年	時代庄屋である徳右衛門が来る			
	1732年	享保の大飢饉			
	1836年	伊能忠敬一行部島を測量			
	1836年	大友水軍(注)			
	1864年	戊辰戦争、南満洲地区大火			
	1868年	明治維新			
	1875年	「生活」の基盤整備がなされる			
明治	1889年	大分県国家郡縣島となる			
	1905年	日露戦争			
大正	1924年	渡喜野村渡喜野島九段航			
	1937年	【国策事業】			
	1941年	太平洋戦争			
	1942年	防空洞台風			
昭和	1946年	【国策事業】			
20年	1946年	南海大地震			
	1947年	北満洲地区大火			
	1950年	神戸湾国立公園に指定			
	1954年	高度経済成長期			
	1957年	部島復興対策実施地域に指定			
	1959年	国鉄線、他1件(県指定天然記念物)			
	1960年	海田跡地を準入り養殖場へ転換			
昭和	1964年	国鉄復興			
40年	1971年	アヤ漁り、他2件(村指定無形文化財)			
	1972年	ファミリー船航路			
	1973年	アヤ漁り、ネット漁り保存会発足			
	1974年	国鉄復興保存会発足			
	1975年	部島大丸(村指定無形文化財)			
	1975年	保存会発足			
	1980年	【国策事業】			
	1980年	こども神楽、村指定文化財に			
	1984年	空き缶子ガシツ制度導入			
	1990年	部島店屋住家、他1件			
	2006年	地域再生マナージャー事業			
	2007年	観音崎一帯、国指定天然記念物に			
	2010年	あったか村事業			
	2012年	部島漁り(国策無形文化財)			
	2013年	部島少子化対策			
	2014年	文化的景観事業			

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

姫島村における景観変容期間 全7期間

第一期姫島村原風景形成期

第二期姫島村原風景形成期

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	全体	生活		歴史		生業		変容期間
			社会基盤	施設	遺構	遺跡	稼働業・文化の継承等	稼働業	
近世 近代 中期	1	瀬戸内海離島拠点期							
	2	産業展開期							
昭和 前期	3	産業近代化発展期							
	4	戦争閉塞期							
昭和 後期	5	戦後復興塩田終焉期							
	6	産業転換基盤整備最盛期							
平成	7	姫島村景観保存・継承期							

景観変容期間の条件 ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされる時期 ②『全体』に関連して生業が変化した時期 ③生業業が終焉または発展した時期
景観変容期間の条件定について、関連のあった歴史事項
■ 基盤整備(増改築、移転含む) ○ 団体、組合等の設立 ▼ 法律、施策等の施行 …その他 () 内の数字は景観変容期間中に含まれる類似した事項の合計を示す

各変容期間における生活・生業の特徴

3 産業近代化発展期(1875年－1936年)

【始】姫島小学校開校

『生活』 小学校や道路の基盤整備がなされた期間

『生業』 主産業に関連する法律や規則が施行、組合等を設立し、近代的に組織化

「漁業」 漁業期節を定め魚族の保護に努め、現在まで継承
 漁港整備が最も多く進められる

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	全体	歴史				変容期間
			社会基盤	施設	法律や規則の施行、組合等を設立	畜産業	
明治	1889年	大分県東国東郡姫島となる		■分教場	▼農会法 ▼産業組合法	県下最大の塩田となる 姫島塩田会議規則 ○塩業会議所	・漁師から魚を購入し、島外で売る、島外で日用品を購入し、漁師に売る
	1905年	日露戦争		■姫島灯台	○姫島村漁業組合 ▼新漁業法	▼塩専売法 ■専売公社姫島出張所	・魚の商売は漁業組合が行うようになる
大正	1924年	貨客船村宮姫島丸就航		■姫島村役場	○有限姫島信用購買組合 ○保証責任姫島村信用販売購買利用組合	○塩業組合 業所	・第1回肉牛品評会 ・牛の競り市開始 ■商店の急増

生活の基盤整備始まる

■姫島小学校

・漁業期節
 ■南浦漁港

■村道大海線

■大海漁港
 ■西浦漁港

3 産業近代化発展期(1875年－1936年)

「塩田業」 塩田面積が県下最大となり、規則や法律が施行され、
塩生産の安定と塩需要の円滑化が図られた

「畜産業」 肉牛品評会や競り市が始まり、大正から**良質な肉牛の生産**に取り組んでいた

「商 業」 海産物の売買が、商店主から漁業組合が行うようになる

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	全体	歴史						変容期間
			生活		生業				
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通
明治	1875年	『生活』の基盤整備がなされる		■姫島小学校 ■姫島郵便局					
	1889年	大分県東国東郡姫島となる		■分教場		▼漁業組合準則 ・漁業期節を定め ■南浦漁港	▼姫島塩田 会議規則		・漁師から魚を購入し、 島外で売る。島外で日用品 を購入し、漁師に売る
大正	1905年	日露戦争		■姫島灯台	▼農会法 ▼産業組合法	○姫島村漁業組合	○塩業会議所		・海産物の売買 商店主から 漁業組合へ
	1924年	貨客船村宮姫島丸就航		■姫島村役場	○有限姫島信用購買組合	▼新漁業法	▼塩専売法	○塩業組合	
			■村道大海線(2)		○保証責任姫島村信用 販売購買利用組合	■大海漁港 ■漁業組合事業所 ■西浦漁港		・肉牛品評会 ・牛の競り市	■商店の急増

3 産業近代化発展期(1875年－1936年)

『生活』の基盤整備が始まり、
『生業』を営むためのルールや組織が形成されるなど、
姫島村の**骨格が築かれた重要な期間**であると考えられる

第一期姫島村原風景形成期

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史				変容期間	
		全体	生活	生業			
明治	1875年	『生活』の基盤整備がなされる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 姫島小学校 ■ 姫島郵便局 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 漁業組合準則 ・ 漁業期節を定める ■ 南浦漁港 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県下最大の塩田となる ▽ 姫島塩田会議規則 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁師から魚を購入し、島外で売る、島外で日用品を購入し、漁師に売る 	
	1889年	大分県東国東郡姫島となる	<p style="text-align: center;">基盤整備開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 農会法 ▽ 産業組合法 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 塩業会議所 	<p style="text-align: center;">ルール、組織の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魚の商売は漁業組合が行うようになる
1905年	日露戦争	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有限姫島信用購買組合 		<ul style="list-style-type: none"> ▽ 新漁業法 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 塩専売法 ■ 専売公社姫島出張所 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回肉牛品評会 ・ 牛の競り市開始
大正	1924年	貨客船村宮姫島丸就航	<ul style="list-style-type: none"> ■ 姫島村役場 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保証責任姫島村信用販売購買利用組合 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大海漁港 ■ 漁業組合事業所 ■ 西浦漁港 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 塩業組合 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商店の急増

各変容期間における生活・生業の特徴

6 産業転換基盤整備最盛期(1960年－1979年)

【始】塩田の跡地をえびの養殖場へ転換

塩田の跡地を車えびの養殖場に転換する期間

フェリー船の就航や文化財保護の取り組みが始まる

『生活』 46件の道路整備や、19件の施設整備もなされ、
「社会基盤」と「施設」の整備が最も盛んな期間

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	歴史							変容期間	
		全体	生活		生業					
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業		商業・流通
昭和40年	1964年	<p>塩田跡地を車えび養殖場へ転換</p> <p>銭太鼓復興</p>	<p>■姫島村役場 (19)</p>	<p>■醤油工場閉鎖</p> <p>■農協事業所</p>	<p>■築磯、漁礁事業(24)</p> <p>■漁業作業場</p> <p>■北浦漁港</p> <p>■漁協事業所</p> <p>■北浦港防波堤灯台</p> <p>■姫島港東防波堤灯台</p> <p>■姫島港改修</p> <p>■養殖用作業保管施設</p> <p>■蓄養施設(2)</p> <p>■ニクニクの生産を奨励</p> <p>■農業倉庫</p> <p>■育苗ハウス4棟</p> <p>■玉ねぎの生産を奨励</p>	<p>■築磯、漁礁事業(24)</p> <p>■漁業作業場</p> <p>■北浦漁港</p> <p>■漁協事業所</p> <p>■北浦港防波堤灯台</p> <p>■姫島港東防波堤灯台</p> <p>■姫島港改修</p> <p>■養殖用作業保管施設</p> <p>■蓄養施設(2)</p> <p>■指導船</p> <p>■燃油タンク</p>	<p>○姫島養魚株式会社</p> <p>○瀬戸内海水産株式会社 姫島養殖場</p> <p>○姫島車えび株式会社</p> <p>■酸素供給用ポンプ2台</p> <p>■目の細かい網</p>	<p>・肉牛を出荷 (大阪肉市場)</p> <p>・姫島牛最高値 (大阪肉市場)</p> <p>■養豚センター</p> <p>■畜牛センター</p> <p>・肉牛品評会廃止</p> <p>・追崎地区が家畜飼育地になる</p> <p>・姫島牛最高値 (大阪肉市場)</p> <p>■牛舎敷地廃業</p> <p>・追崎地区で豚多頭資育開始</p>	<p>・フェリー船から商品を車両に乗せたまま搬入</p> <p>■商工会事務所</p>	<p>基盤整備最盛期</p>
	1971年	<p>文化財保護 取り組み</p> <p>アヤ踊り、他2件(村指定無形文化財) 比売語曾社、他1件(村指定有形文化財)</p> <p>■簡易水道(全域)</p>								
	1974年 1975年	<p>フェリー船就航</p> <p>会発足</p> <p>銭太鼓保存会発足</p> <p>猿丸太夫(村指定無形文化財)保存会発足</p>	<p>■フェリーボード</p> <p>■追ダム</p>							

産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

6 産業転換基盤整備最盛期(1960年－1979年)

「農業」 甘藷以外にニンニクや玉ねぎなどの換金作物を栽培し始める

「漁業」 築磯・漁礁事業などの基盤整備が進み、漁場保護が積極的になされている

「車えび養殖業」 塩田業廃止より、残された広漠な跡地を利用、島の新しい産業となる

「畜産業」 衛生上の問題や迫ダムの建設により衰退し始める

「商業」 フェリー船の就航により商品を自動車に乗せたまま物資が搬入される

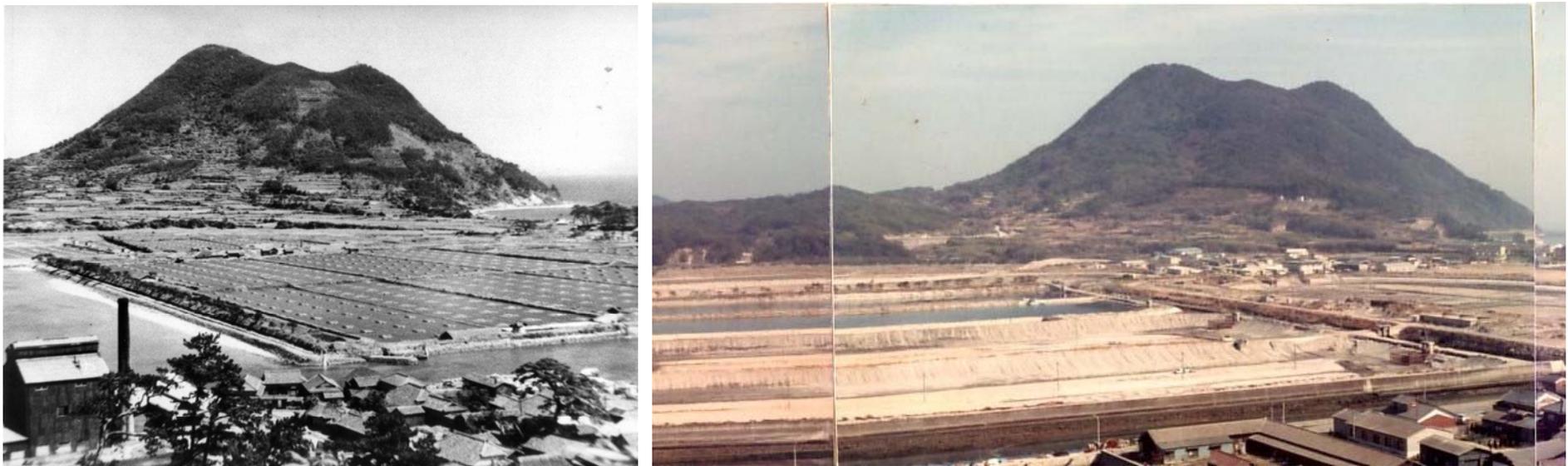


図4 塩田の跡地を車えびの養殖場へ

6 産業転換基盤整備最盛期(1960年-1979年)

「農業」 甘藷以外にニンニクや玉ねぎなどの換金作物を栽培し始める

「漁業」 築磯・漁礁事業などの基盤整備が進み、漁場保護が積極的になされている

「車えび養殖業」 塩田業廃止より、残された広漠な跡地を利用、島の新しい産業となる

「畜産業」 衛生上の問題やダムの建設により衰退し始める

「商業」 フェリー船の就航により商品を自動車に乗せたまま物資が搬入される

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	歴史							変容期間											
		全体	生活		農業	漁業	生業													
			社会基盤	施設			塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通											
昭和40年	1960年	塩田跡地を車えび養殖場へ転換	<ul style="list-style-type: none"> ■中央線(46) ■簡易水道(金地区) ■横づけ桟橋 	<ul style="list-style-type: none"> ■姫島村役場(19) ■醤油工場閉鎖 	<ul style="list-style-type: none"> ■築磯, 漁礁事業(24) ■漁業作業場 ■北浦漁港 ■漁協事業所 ■北浦港防波堤灯台 ■姫島港東防波堤灯台 ■姫島港改修 	<ul style="list-style-type: none"> ○姫島養魚株式会社 ○瀬戸内海水産株式会社 姫島養殖場 ○姫島車えび株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・肉牛を出荷(大阪肉市場) ・姫島牛最高値(大阪肉市場) ■養豚センター ■畜牛センター 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所 	基盤整備											
	1964年	銭太鼓復興								<ul style="list-style-type: none"> ■簡易水道(全域) 	<ul style="list-style-type: none"> ■農協事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ■養殖用作業保管施設 ■蓄養施設(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ■酸素供給用ポンプ ■目の細かい網 	<ul style="list-style-type: none"> ・追崎地区家畜飼育地 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリー船に物資を車両に乗せたまま搬入 					
	1971年	アヤ踊り, 他2件(村指定無形文化財) 比売語曾社, 他1件(村指定有形文化財)														<ul style="list-style-type: none"> ■迫ダム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニンニクの生産を奨励 ■農業倉庫 ■育苗ハウス4棟 ・玉ねぎの生産を奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ■指導船 ■燃油タンク 	<ul style="list-style-type: none"> ■牛舎小屋敷地廃業 	
	1972年	フェリー船就航																		<ul style="list-style-type: none"> ■事務所
	1973年	アヤ踊り, キツネ踊り保存会発足 高度経済成長期終焉																		
	1974年	銭太鼓保存会発足																		
1975年	猿丸太夫(村指定無形文化財) 保存会発足																			

6 産業転換基盤整備最盛期(1960年－1979年)

現在の『生活』の基盤が整備なされ、
 塩田業が車えびの養殖業に転換するなど、急速に『生業』が変遷し、
 現在の姫島村の骨格が築かれた重要な期間であると考えられる

第二期姫島村原風景形成期

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史				変容期間	
		全体	生活	生業			
昭和40年	1960年	塩田跡地を車えび養殖場へ転換	<ul style="list-style-type: none"> ■ 姫島村役場 ■ 中央線(46) ■ 簡易水道(金地区) ■ 横づけ桟橋 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 醤油工場閉鎖 ■ 築磯、漁礁事業(24) ■ 漁業作業場 ■ 北浦漁港 ■ 農協事業所 ■ 漁協事業所 ■ 北浦港防波堤灯台 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姫島養魚株式会社 ○ 瀬戸内海水産株式会社 姫島養殖場 ○ 姫島車えび株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肉牛を出荷(大阪肉市場) ・ 姫島牛最高値(大阪肉市場) 	基盤整備最盛期
	1964年	銭太鼓復興	基盤整備最多	塩田業 → 車えび養殖業へ			
	1971年	アヤ踊り、他2件(村指定無形文化財) 比売語曾社、他1件(村指定有形文化財)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 養殖用作業保管施設 ■ 畜養施設(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェリー船から商品を車両に乗せたまま搬入 ・ 肉牛品評会廃止 ・ 追崎地区が家畜飼育地になる ・ 姫島牛最高値(大阪肉市場) 		
	1972年	フェリー船就航		<ul style="list-style-type: none"> ■ ニンニクの生産を奨励 ■ 指導船 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 酸素供給用ポンプ2台 ■ 目の細かい網 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商工会事務所 	
	1973年	アヤ踊り、キツネ踊り保存会発足 高度経済成長期終焉		<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業倉庫 ■ 育苗ハウス4棟 ■ 玉ねぎの生産を奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 牛舎敷地廃業 ・ 追崎地区で豚多頭飼育開始 		
	1974年	銭太鼓保存会発足					
	1975年	猿丸太夫(村指定無形文化財) 保存会発足		<ul style="list-style-type: none"> ■ フェリーボード ■ 追ダム 			

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

古写真の空間構成の特徴を把握するためにリデュース法を用いて構図分析を行い、古写真の構図と画像中に含まれる景観構成要素について整理する

構図分析の対象とした古写真

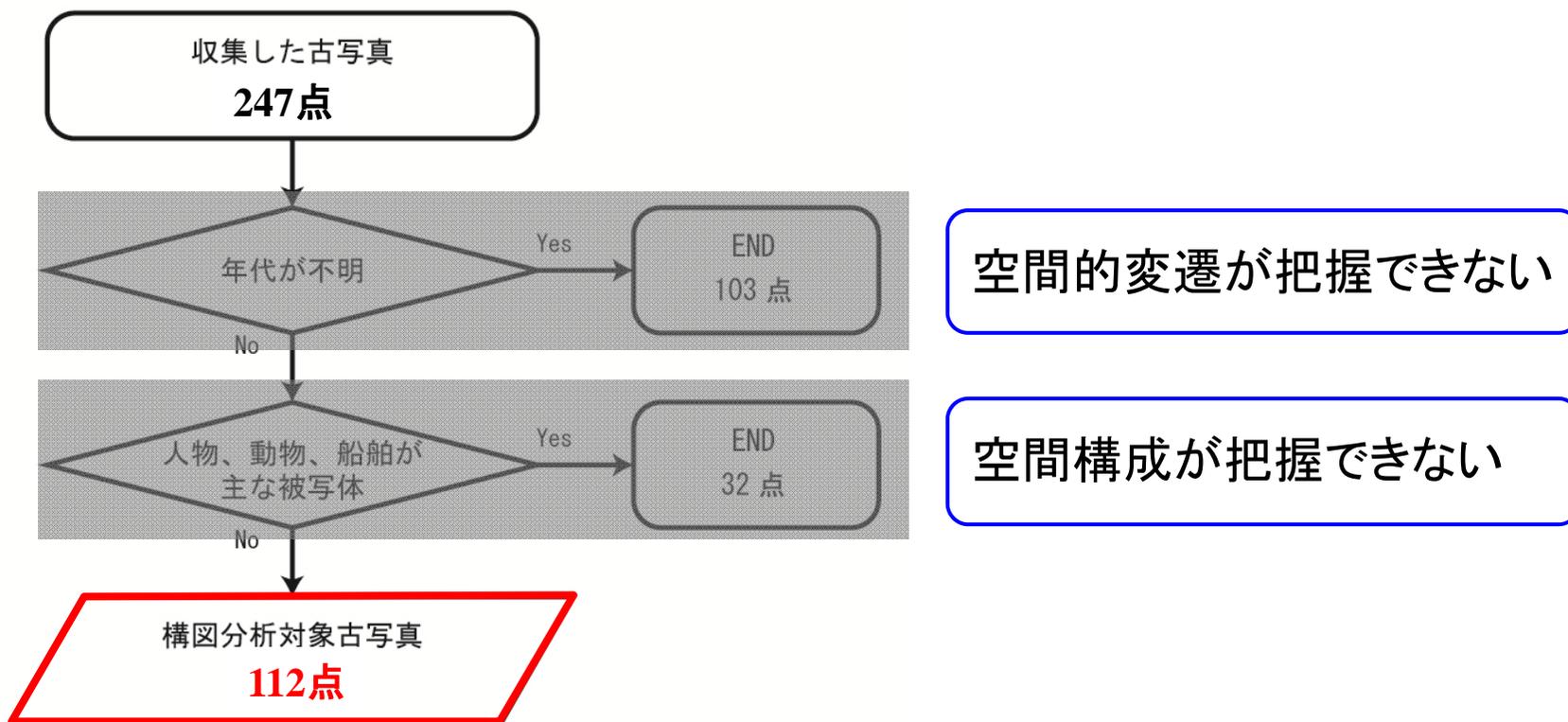
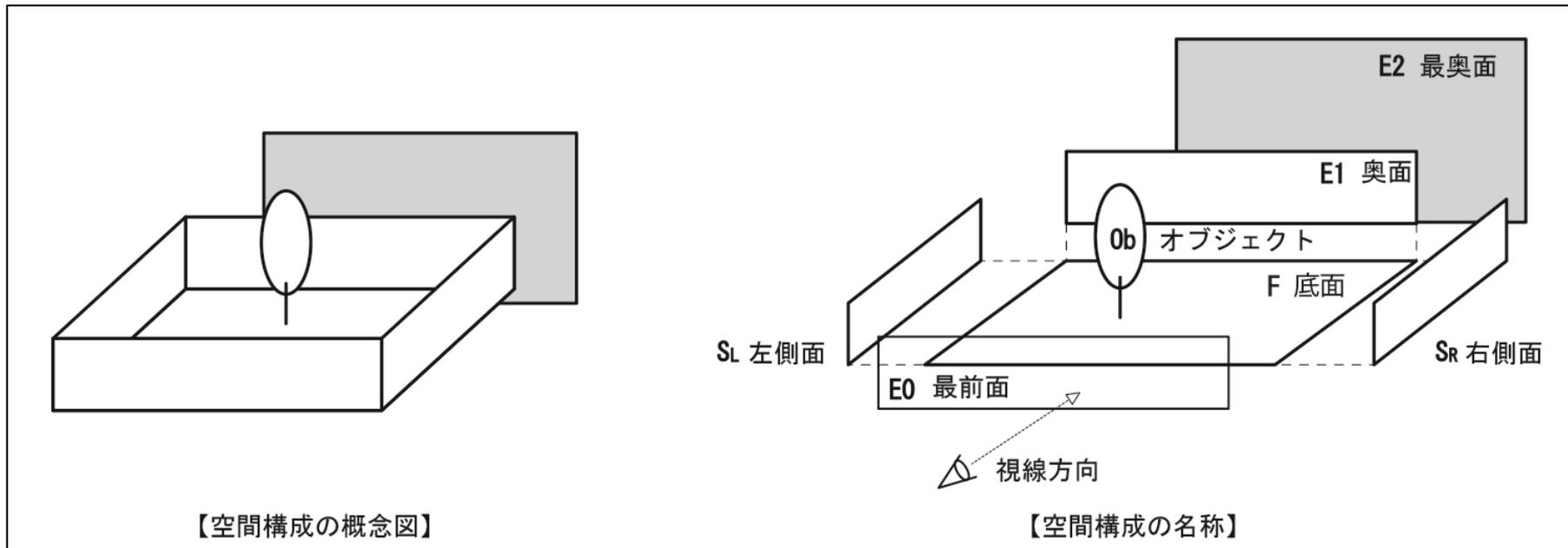


図4 古写真の選定フロー

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

リデュース法※について



- ① 2次元の画像面に撮影した複雑な実空間を、6つの面(E0,SL,SR,F,E1,E2)とオブジェクト(Ob)による簡易的な3次元モデルとして把握する
- ② 画像に見られる景観の構図や空間構成を立体的に把握する

姫島村では、地形図や土地台帳などの地図資料の少ない地域であり、空間構成の変遷の解釈が困難であったが、空間構成の特徴を把握する手段として、この手法は有用であると考えられる

※姫野由香、佐藤誠治、小林祐司、金キョン希「観光資源が写された景観画像の構図解析手法」
日本建築学会計画系論文集第569号、139-145、2003年7月

古写真からみる空間構成の特徴

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

表2 古写真にみられる特徴的な構図と景観構成要素の関係

構図タイプ			合計		出現位置	景観構成要素の出現率(%)															
						自然にかかわる景観構成要素						人的な景観構成要素									
						水辺を構成する景観構成要素			緑地を構成する景観構成要素			平野を構成する景観構成要素		不動産		動産					
海	浜	堤防	遊止場・漁礁	車えび養殖場	その他	山地	雑物	塩田	田畑	道路・土地	建造物	船	自動車	人物							
F面無	A類 (一面)		4	3.6	E0面	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-			
					E0面	-	-	20.0	-	-	-	80.0	-	-	40.0	-	-	-			
	E1面	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	60.0	-	-	-							
E面無	B類 (二面)		5	4.5	F面	66.7	33.3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-			
					Ob	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3			
					E1面	-	-	10.0	3.4	-	-	50.0	3.4	-	-	-	3.4	-	-	-	
F面有	E0面有	C類 (一面+Ob)	3	2.7	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3			
					E0面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
					E1面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	F面有	F類 (三面+Ob)		13	11.6	Ob	-	-	-	-	2.9	-	-	-	-	-	-	40.0	3.7	3.7	
						E0面	-	-	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	30.8	-	-	-
						E1面	-	-	-	-	-	-	84.6	-	-	-	-	-	15.4	-	-
	E0面有	G類 (四面+Ob)		10	8.9	F面	66.7	-	23.1	-	-	7.7	23.1	7.7	15.4	-	-	-	-		
						Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7
						E0面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	E1面有	H類 (三面+Ob)		6	5.4	E1面	-	-	40.0	10.0	-	-	-	-	-	80.0	-	-	-		
						E2面	-	-	-	-	-	-	60.0	10.0	-	-	-	30.0	-	-	-
						F面	80.0	-	10.0	-	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E2面有	I類 (四面+Ob)		6	5.4	Ob	-	-	-	-	-	30.0	-	-	-	-	30.0	-	10.0			
					E1面	-	-	-	16.7	-	-	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
					SI面	-	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-	-	16.7	83.3	-	-	-	-
E2面有	J類 (五面+Ob)		1	0.9	F面	66.7	-	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-			
					Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	16.7		
					E1面	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	83.3	-	-	-	-	-
SI面有	K類 (四面+Ob)		6	5.4	E2面	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-			
					SI面	-	-	100.0	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	
					F面	100.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SI面有	L類 (五面+Ob)		1	0.9	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7				
					E0面	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
					E1面	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
SI面有	M類 (五面+Ob)		1	0.9	E2面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-				
					SI面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-		
					F面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
構図分析対象古写真112点						68	12	38	20	12	15	67	47	7	5	18	67	38	2	15	
						60.7	10.7	33.9	17.8	10.7	13.4	50.9	42.0	6.3	4.5	16.1	50.9	33.9	1.8	13.4	

「どの面や景観構成要素の組み合わせによって景観が構成されているのか」
 「構成された空間の、どの場所にどういった景観構成要素が存在しているか」

景観構成要素の出現率
 (景観構成要素の出現回数/古写真の枚数)

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

表2 古写真にみられる特徴的な構図と景観構成要素の関係

10タイプ					合計		出現位置	景観構成要素の出現率(%)														
					枚数	割合(%)		自然にかかわる景観構成要素										人的な景観構成要素				
								古写真中に確認された景観構成要素 12種類														
								海	浜	堤防	波止場・漁礁	車えび養殖場	その他	山地	植物	塩田	田畑	道路・土地	建造物	船	自動車	人物
F面無	A類		4	3.6	E0面	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-		
	B類		5	4.5	E0面	-	-	20.0	-	-	-	-	80.0	-	-	-	40.0	-	-	-		
E面無	C類		3	2.7	F面	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-		
	D類		29	25.9	Ob	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3		
					E1面	-	-	10.3	3.4	-	-	69.0	3.4	-	-	-	-	3.4	-	-		
					F面	72.4	17.2	3.4	3.4	6.9	-	-	-	10.3	6.9	20.7	-	-	-	-		

景観構成要素の出現率(%)														
自然にかかわる景観構成要素										人的な景観構成要素				
水辺を構成する景観構成要素					緑地を構成する景観構成要素			平野を構成する景観構成要素		不動産		動産		
海	浜	堤防	波止場・漁礁	車えび養殖場	その他	山地	植物	塩田	田畑	道路・土地	建造物	船	自動車	人物
68	12	38	20	12	15	67	47	7	5	18	67	38	2	15
60.7	10.7	33.9	17.9	10.7	13.4	59.8	42.0	6.3	4.5	16.1	59.8	33.9	1.8	13.4

古写真に記録された景観は「海」、「山地」、「建造物」、「植物」、「堤防」、「船」の組み合わせにより構成されている

J類		1	6.9	F面	100.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-	
				E0面	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
				E1面	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
				E2面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
				S1面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
F面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-					
合計			112	100.0														
出現率(%)			-	-														

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

表2 古写真にみられる特徴的な構図と景観構成要素の関係

10タイプ			合計		出現位置	景観構成要素の出現率(%)																								
						自然にかかわる景観構成要素							人的な景観構成要素																	
						水辺を構成する景観構成要素				緑地を構成する景観構成要素			平野を構成する景観構成要素		不動産		動産													
						海	浜	堤防	波止場・漁礁	車えび養殖場	その他	山地	植物	塩田	田畑	道路・土地	建造物	船	自動車	人物										
F面無	A類		4	3.6	E0面	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-											
	B類		5	4.5	E0面	-	-	20.0	-	-	-	-	80.0	-	-	40.0	-	-	-											
F面有	E面無	C類		3	2.7	F面	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>D類 (二面+Ob)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>29</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>25.9</p> </div> </div>																							
		D類		29	25.9	E1面																								
	E0面無	E類	E類		35	31.3												Ob												
			E類		35	31.3												E1面												
		F類	F類	F類		13												11.6	E2面											
				F類		13												11.6	F面											
			G類	G類		10												8.9	Ob											
				G類		10												8.9	E0面											
	S面有	H類	H類		6	5.4												E1面	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-
			H類		6	5.4												SI面	-	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	83.3	-	-	-
H類				6	5.4	F面	66.7	-	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-												
H類				6	5.4	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	16.7												
I類		I類		6	5.4	E1面	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	83.3	-	-												
		I類		6	5.4	E2面	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-												
		I類		6	5.4	SI面	-	-	100.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-												
		I類		6	5.4	F面	100.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
J類	J類	J類		1	0.9	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7													
		J類		1	0.9	E0面	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-													
	J類	J類		1	0.9	E1面	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-													
		J類		1	0.9	E2面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-												
J類		1	0.9	SI面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-														
J類		1	0.9	F面	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-														

構図分析対象古写真112点

68	12	38	20	12	15	67	47	7	5	18	67	38	2	15
60.7	10.7	33.9	17.9	10.7	13.4	59.8	42.0	6.3	4.5	16.1	59.8	33.9	1.8	13.4

古写真からみる空間構成の特徴

E類
(三面+Ob)

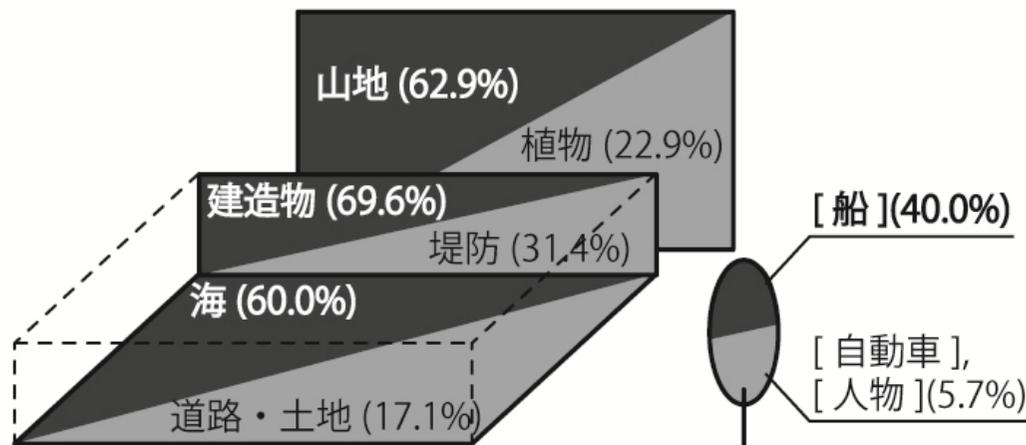


構図タイプに占める
出現率が最上位の
景観構成要素



構図タイプに占める
出現率が第2位の
景観構成要素

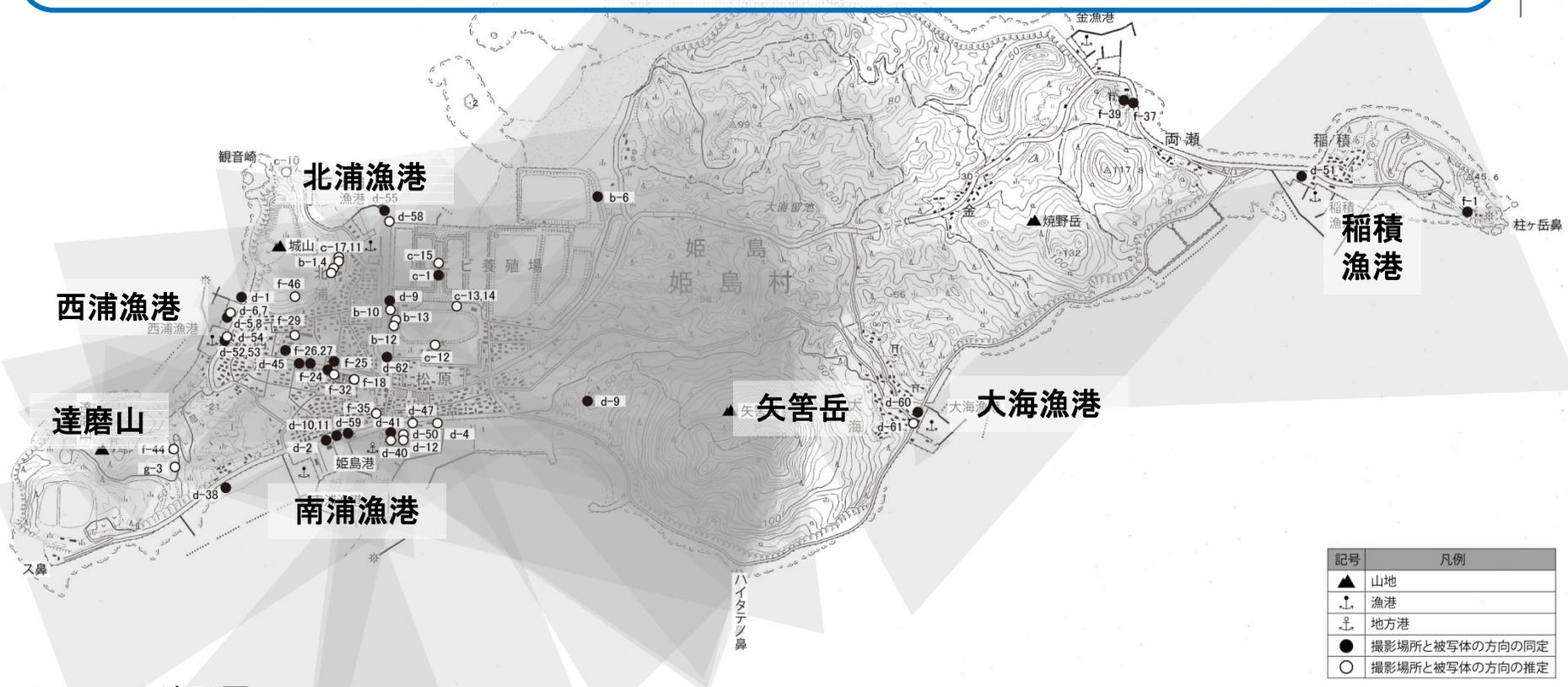
※動産である景観構成要素は
[]で示す



主に**奥面**(E1,E2)に**「山地」**、**「建造物」**、**「堤防」**が分布し、**底面**(F)に**「海」**が分布している空間構成が特徴的である。Obは**「建造物」**や**「漁礁・波止場」**などの不動産よりも**「船」**などの動産の出現率が高い傾向にあった。

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

古写真の視点場は、**姫島村の西部に集中し、漁港付近に集中する傾向がある**
 ・視対象は、「**矢筈岳**」や「**達磨山**」などの**山地**、「**北浦漁港**」などの**漁港**に集中する傾向がある



1/2,5000の地形図

●: 同定した視点場: **27点**/76点 ○: 推定した視点場* **29点**/76点

※古写真中に視点場の手がかりとなる被写体が写されていない, 古写真中の手がかりとなる被写体が消失し
 現地調査で確認できない, 茂みや森林と化し視点場まで行くことができない

現況写真比較からみる空間構成の変遷

表3 景観変容期間における古写真の景観構成要素の変遷

景観変容期間	写真枚数	景観構成要素																													合計	
		水辺を構成する景観構成要素					緑地を構成する景観構成要素					平野を構成する景観構成要素					建造物															
		海	浜	堤防	漁波止場・	車えび養殖場	山地	樹木	塩田	田畑	草地	道路	建造物	住宅	姫島小学校	離島開発総合センター	軽スポーツセンター	姫島村国民健康診療所	姫島村船舶待合所	消防署姫島出張所	比売語管社	姫島灯台	灯台公園休憩所	姫島運動公園	漁協事務所・倉庫	灯台（漁港）	製塩工場					
①	2	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
②	4	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
③	21	■	9	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
■、▲、▽合計		■:8 ▲:16 ▽:29					■:26 ▲:5 ▽:0					■:5 ▲:7 ▽:5					■:6 ▲:16 ▽:9															

■: 顕著な変化は見られず現存している景観構成要素

▲: 新たに出現した景観構成要素、面積・数が増加した景観構成要素

▽: 消失した景観構成要素、面積・数が減少した景観構成要素

■: 顕著な変化は見られず現存している景観構成要素 ▲: 新たに出現した景観構成要素、面積・数が増加した景観構成要素 ▽: 消失した景観構成要素、面積・数が減少した景観構成要素 (数字は目視で確認できた写真の枚数を示す)

視点場を同定した古写真27点を、3章で明らかにした変容期間ごとに分類した。分類した古写真は、①「産業近代化発展期」が2点、②「戦後復興塩田業終焉期」が4点、③「産業転換基盤整備最盛期」が21点である。

①と②については、古写真の枚数が少なく、景観構成要素の変遷の傾向把握が困難であると考えられるため、この章では産業基盤整備最盛期の古写真と現況写真の比較し、景観構成要素の変遷について考察する

現況写真比較からみる空間構成の変遷(比較写真の例)



■: 顕著な変化は見られず現存している景観構成要素

▲: 新たに出現した景観構成要素、面積・数が増加した景観構成要素

▽: 消失した景観構成要素、面積・数が減少した景観構成要素

現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷

現況写真比較からみる空間構成の変遷

表3 景観変容期間における古写真の景観構成要素の変遷

産業転換基盤整備最盛期【1960-1979】				撮影期間	写真枚数	水辺を構成する景観構成要素						緑地を構成する景観構成要素					
						海	堤防	波止場	半えび養殖場	樹木	地	樹木	樹木	樹木	樹木		
産業近代化発展期【1875-1936】	2	■	-														
		▲	-														
		▽	1														
戦後復興塩田業終焉期【1946-1959】	4	■	2														
		▲	-														
		▽	1	2													
産業転換基盤整備最盛期【1960-1979】	21	■	3	1		1	-	-	1	5	2	4	3	-	1	2	3
		▲	2	-	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3
		▽	9	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
■、▲、▽合計				■:6 ▲:12 ▼:24				■:20(17) ▲:3 ▼:0									

- : 顕著な変化は見られず現存している景観構成要素
- ▲: 新たに出現した景観構成要素、面積・数が増加した景観構成要素
- ▽: 消失した景観構成要素、面積・数が減少した景観構成要素

- 水辺を構成する景観構成要素の増加または減少が著しいことがわかる
特に、海、堤防、波止場の変化は、第三章年表の中で、継続的に行われている港付近の開発によるものと考えられる
- 山地は現存し、写真中に何度も出現するが、顕著な変化は見られない

第六章 総括

第三章

生活・生業に関連する歴史年表を作成し、景観変容期間を抽出
文化的景観の骨格が築かれたと考えられる時期を「原風景形成期」として特定

第四章

古写真の構図分析によって特徴的な空間構成を把握

第五章

現地調査によって古写真の視点場を同定し、現況写真を撮影
古写真と現況写真を比較することで景観構成要素の変遷を把握

文化的景観

生活・生業の**変化を許容しながら**現在の景観を形成するため、景観が如何なる時期に如何なる生活・生業によって形成されたか、**変容の過程**が捉え難い

今後の課題

景観の変容過程や空間構成は明らかになったが、これらの**史実と関係する特定の景観構成要素**や、それらを支える生活・生業の仕組みについては明らかになっていない。
更なる文献調査やヒアリング調査によって、**重要な景観構成要素とそれを支える仕組み**を明らかにし、それらの保護や継承のために必要な知見を得る必要がある。

資料

姫島七不思議

千人堂

観音崎に馬頭観世音を祀った小さなお堂がある。大晦日の夜、債鬼に追われた善人を千人かくまうことができるといわれるからこの名がある。



浮洲

沖合の小さな洲に漁業の神様、高部様を祀っている。高部様と鳥居は高潮や大しけの時でも決して海水につかることがないといわれるからこの名がある。



逆柳

お姫様が、使った柳の楊枝を土中に逆さまに挿したところ、芽を出したといわれるから逆柳といわれている。



姫島七不思議

かねつけ石(おはぐろ石)

お姫様が、おはぐろを付ける時、石の上に猪口と筆を置いたところ、その跡ができたといわれている。



拍子水

お姫様が、おはぐろを付けた後、口をゆすごうとしたが水がなく、手拍子を打ち祈ったところ、水が湧き出したといういわれから、拍子水という。



浮田

大昔、池に棲んでいた大蛇を誤って埋めてしまったため、大蛇の怒りで田が揺れるといわれている。



阿弥陀牡蠣

灯台下の海蝕洞窟内に「牡蠣」が群棲し、海水につかることがなく、阿弥陀三尊の形に似ているのでこの名がある。この牡蠣を食べると腹痛を起こすといわれている。



歴史年表の概要

姫島村の景観の変容期間を把握



参考文献^{1)~9)}を収集



集落の形態や住民の生活・生業に変化を与えたと考えられる歴史事項を抽出

抽出した歴史事項

- 『全体』、『生活』、『生業』に分類
- 『生活』: 「社会基盤」、「施設」
- 『生業』: 「農業」、「漁業」、「塩田業・車えび養殖業」、「畜産業」、「商業・流通」

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	全体	生活	生業	変容期間
原始時代	112 年 部高の黒曜石が中四国地方へ運ばれた			縄文時代
古代	720 年 古事記に姫島が載る			古墳時代
中世	1499 年 日本書紀に比売語賀社が載る			室町時代
	1610 年 『生業』の基礎整備がなされる			江戸時代
	1712 年 近代産業である塩産部門がある			
	1732 年 享保の大飢饉			
近世	1810 年 伊能忠敬一行姫島を測量			幕末・明治
	1835 年 全島大飢饉			
	1864 年 高瀬戦争、南東地区大火			
	1868 年 明治維新			
	1875 年 『生業』の基礎整備がなされる			
明治	1889 年 大分県立国定姫島となる			大正時代
	1905 年 日露戦争			
大正	1924 年 渡喜船村渡喜島丸就航			
	1937 年 国家重要			
	1941 年 太平洋戦争			
	1942 年 防空要地			
昭和	1945 年 敗戦			戦後
20年	1946 年 南海大地震			
	1947 年 北海道大火			
	1950 年 瀬戸内海国立公園に指定			
	1954 年 高度経済成長期			
	1957 年 姫島国定公園指定			
	1959 年 昭和30年、他1件(県指定天然記念物)			
	1960 年 塩田跡地生息入り養殖場へ転換			
昭和	1964 年 新大規模復興			高度経済成長期
40年	1971 年 アサ祭り、他2件(村指定無形文化財)			
	1972 年 フォリー船就航			
	1973 年 アサ祭り、モツネ祭り保存会発足			
	1974 年 新大規模復興完成			
	1975 年 姫島大木(村指定無形文化財)			
	1980 年 大分県「一泊一泊」事業			
	1983 年 二の宮神社、村指定無形文化財			
	1984 年 認定者生計簿システム導入			
	1990 年 姫島位置古往家、他1件(村指定有形文化財)			
	2006 年 地域再生マナージャー事業			
	2007 年 姫島崎一帯、国指定天然記念物に			
平成	2010 年 あったかな村事業			
	2012 年 姫島祭り(国指定無形文化財)			
	2013 年 新大規模復興の認定			
	2014 年 文化的景観事業			

変容期間の条件 ①『生活』または『生業』の基礎整備がなされる時期 ②『全体』に関連して生業が変化した時期 ③主産業が移り変わった時期
 変容期間の条件①について、関連のあった歴史事項
 ■ 基礎整備(増改築、移転含む) ○ 団体、組合等の設立 ▼ 法律、施策等の施行 . . . その他 () 内の数字は変容期間中に含まれる類似した事項の合計を示す

第三章 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

1. 参考文献より主産業に関連する歴史年表を作成

2. 景観変容期間を区分(以下はその条件)

- ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされた時期
- ②『全体』に関連して『生業』が変化した時期
- ③ 主産業が終息または発展した時期

3. 抽出した歴史事項を整理(以下はその表の凡例)

- 「■基盤整備」
- 「○団体、組合等の設立」
- 「▼法律、施策等の施行」
- 「・その他」

・景観の変容過程を整理
 ・「原風景形成期※」を特定

※文化的景観の骨格が築かれたと考えられる時期

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	全体	生活	生業	景観変容期間
古代	—	—	—	—	—
中世	1489年	大友水軍の本拠地の一つだった	—	—	—
近世	1610年	『生業』の基盤整備がなされる	—	—	—
1712年	—	幕府の大名屋敷が築かれる	—	—	—
1732年	—	享保の大飢饉	—	—	—
1810年	—	伊能忠敬一行が島を測量	—	—	—
1836年	—	大友水軍(再)	—	—	—
1864年	—	長門戦争、南満地区大火	—	—	—
1868年	—	明治維新	—	—	—
1875年	—	『生活』の基盤整備がなされる	—	—	—
1889年	—	大分県設置、南満地区となる	—	—	—
1905年	—	日露戦争	—	—	—
1924年	—	黄岩島村設置、南満地区となる	—	—	—
1937年	—	支那事変	—	—	—
1941年	—	太平洋戦争	—	—	—
1942年	—	開港防風	—	—	—
昭和20年	—	—	—	—	—
1945年	—	終戦	—	—	—
1946年	—	南海大地震	—	—	—
1947年	—	北満地区大火	—	—	—
1950年	—	神戸海国公園(指定)キヤセ台風	—	—	—
1954年	—	高度経済成長期	—	—	—
1957年	—	南島復興対策実施地域に指定	—	—	—
1959年	—	新緑、他1件(県指定天然記念物)	—	—	—
1960年	—	後編、他1件(県指定天然記念物)	—	—	—
1964年	—	鉄大鉄復興	—	—	—
昭和40年	—	—	—	—	—
1971年	—	アヤ語り、他2件(村指定無形文化財)	—	—	—
1972年	—	ファミリー船航路	—	—	—
1973年	—	アヤ語り、キツノ語り保存会発足	—	—	—
1974年	—	鉄大鉄保存会発足	—	—	—
1975年	—	鉄丸大夫(村指定無形文化財)	—	—	—
1976年	—	保存会発足	—	—	—
1980年	—	大分県一併一併運河	—	—	—
1982年	—	こども神楽、村指定文化財に	—	—	—
1984年	—	空き缶子ガシツ制度導入	—	—	—
1990年	—	南島復興対策実施地域に指定	—	—	—
2006年	—	地域再生マネージャー事業	—	—	—
2007年	—	観音崎一帯、国指定天然記念物に	—	—	—
2010年	—	あったか村事業	—	—	—
2012年	—	南島復興(国指定無形文化財)	—	—	—
2013年	—	鉄丸大夫(村指定無形文化財)	—	—	—
2014年	—	文化的景観事業	—	—	—

景観変容期間の条件: ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされる時期 ②『全体』に関連して『生業』が変化した時期 ③ 主産業が終息または発展した時期
 景観変容期間の条件について、関連のあった歴史事項
 ■ 基盤整備(増改築、移転含む) ○ 団体、組合等の設立 ▼ 法律、施策等の施行 ・ その他 () 内の数字は景観変容期間中に含まれる類似した事項の合計を示す

歴史年表の概要

抽出した歴史事項

- 「■基盤整備」
- 「○団体、組合等の設立」
- 「▼法律、施策等の施行」
- 「・その他」

景観変容期間の区分の条件

- ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされた時期
- ②『全体』に関連して『生業』が変化した時期
- ③ 主産業が終息または発展した時期

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史						変容期間
		全体	生活	生業				
原始時代	—	姫島の黒曜石が中四国地方へ運ばれる						瀬戸内海 離島拠点
古代	712年	古事記に姫島が載る						
中世	720年	日本書紀に比売語曾社が載る						
	1499年	大友水軍の本拠地の一つだった		・畑作が中心(弘安図田帳)				①
近世	1610年	『生業』の基盤整備がなされる				■余業的に塩田を築造 ・塩田が増加する	・牛を飼育し始める	
	1712年	初代庄屋である徳右得門が来る						
	1732年	享保の大飢饉		■地藏尊 ・甘藷を導入				
	1810年	伊能忠敬一行姫島を測量						
	1835年	大風水害(3)			■北浦に波止場 ■稲積漁港	■姫島村庄屋古庄家 ■入浜式塩田築造	・他藩にも塩を輸出 ・塩浜紛争	・肉の消費を政府が奨励
	1864年	馬関戦争、南浦地区大火						
	1868年	明治維新						①
	1875年	『生活』の基盤整備がなされる	■姫島小学校 ■姫島郵便局		▼漁業組合準則	・県下最大の塩田となる ▼姫島塩田会議規則	・漁師から魚を購入し、島外で売る、島外で日用品を購入し、漁師に売る	

歴史年表の概要

抽出した歴史事項

- 「■基盤整備」
- 「○団体、組合等の設立」
- 「▼法律、施策等の施行」
- 「・その他」

景観変容期間の区分の条件

- ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされた時期
- ②『全体』に関連して『生業』が変化した時期
- ③ 主産業が終息または発展した時期

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史				変容期間				
		全体	生活		生業					
			社会基盤	施設						
昭和 20年	1924年	貨客船村宮姫島丸就航			<ul style="list-style-type: none"> ○保証責任姫島村信用販売購買利用組合 ○塩業組合 ○保証責任漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ■大海漁港 ■西浦漁港 	<ul style="list-style-type: none"> ■漁業組合事業所 ■商店の急増 			
	1937年	支那事変			<ul style="list-style-type: none"> ■事業所移転・事業拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ○保証責任漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ・男手が不足し、塩田作業の継続が困難になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資が乏しくなり、決められた商店が決められた商品を細々と販売 	②	
	1941年	太平洋戦争			<ul style="list-style-type: none"> ・小学校校庭を甘藷畑に 	<ul style="list-style-type: none"> ▼水産法団令 ○姫島村漁業会 			戦争閉塞期	
	1942年	周防灘台風			<ul style="list-style-type: none"> ○姫島村農業会 					
	1945年	終戦			<ul style="list-style-type: none"> ▼戦時農業団令 				②	
	1946年	南海大地震					<ul style="list-style-type: none"> ○姫島製塩株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・豚を一戸に一頭飼育していた 	<ul style="list-style-type: none"> ■商店の増加 ・物資が出回るようになる 	②
	1947年	北浦地区大火			<ul style="list-style-type: none"> ▼農地改革 ○姫島村農業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ▼水産協同組合法 ○姫島村漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ■塩田築造 ■真空式製塩工場 ・インフレに直面し製塩中止 		戦後復興塩田	
	1950年	瀬戸内海国立公園に指定 キジヤ台風					<ul style="list-style-type: none"> ・村営塩田として再開 ■塩田災害復旧工事 ■蒸気利用式製塩工場 			
	1954年	高度経済成長期					<ul style="list-style-type: none"> ■築碁、漁礁事業(5) 			

歴史年表の概要

抽出した歴史事項

- 「■基盤整備」
- 「○団体、組合等の設立」
- 「▼法律、施策等の施行」
- 「・その他」

景観変容期間の区分の条件

- ①『生活』または『生業』の基盤整備がなされた時期
- ②『全体』に関連して『生業』が変化した時期
- ③ **主産業が終息または発展した時期**

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史							変容期間	
		全体	生活		農業	漁業	生業			
			社会基盤	施設			塩田業・えびの養殖業	畜産業		商業・流通
1940年	南海入地産					○姫島製塩株式会社	・豚を1戸に1頭飼育していた	■商店の増加	戦後復興塩田業終焉期	
1947年	北浦地区大火		■姫島中学校 ■姫島女子高等家政学院	▼農地改革 ○姫島村農業協同組合	▼水産協同組合法 ○姫島村漁業協同組合	■塩田築造 ■真空式製塩工場 ・インフレに直面し製塩中止		■商店の増加 ・物資が出回るようになる		
1950年	瀬戸内海国立公園に指定 キジヤ台風					・村営塩田として再開 ■塩田災害復旧工事 ■蒸気利用式製塩工場				
1954年	高度経済成長期									
1957年	離島振興対策実施地域に指定	■北山線(2)	■姫島村国民診療健康所 ■姫島村保育所	・共済事業開始 ■醤油工場	○大分県保安部姫島事務所			○姫島村商工会 ・大分県商工会連合会に加入		
1959年	藍鉄鉱, 他1件(県指定天然記念物)					▼塩田整備臨時措置法 ■塩田廃止	・牛の競り市廃止			
1960年	塩田跡地を車えび養殖場へ転換		■姫島村役場(19)	■醤油工場閉鎖		○姫島養魚株式会社				
		■中央線(46) ■簡易水道(金地区) ■横づけ棧橋			■築磯, 漁礁事業(24)		・肉牛を出荷(大阪肉市場)			
昭和40年	銭太鼓復興			■農協事業所	■漁業作業場 ■北浦漁港 ■漁協事業所 ■北浦港防波堤灯台	○瀬戸内海水産株式会社 ■姫島養殖場 ○姫島車えび株式会社	・姫島牛最高値(大阪肉市場)			

各変容期間における生活・生業の特徴

1 瀬戸内海離島拠点期（－1609年）

【始】姫島の黒曜石が中四国地方へ運ばれる

原始時代 黒曜石が採取され、九州圏内や中四国地方まで黒曜石が分布
 中世 大友水軍の本拠地の一つであり、瀬戸内海の離島として海上交通の拠点
 弘安凶田帳の記録から畑作が中心であったと考えられる

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史							変容期間	
		全体	生活		生業					
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通	
原始時代		黒曜石 中四国地方へ								瀬戸内海 離島拠点期
古代			大友水軍本拠地の1つ			・畑作が中心				
中世										
近世	1610年	『生業』の基盤整備がなされる								姫島村産業展開期
	1712年	初代庄屋である徳右得門が来る								
	1732年	享保の大飢饉			■地蔵尊 ・甘藷を導入					
	1810年 1835年	伊能忠敬一行姫島を測量 大風水害(3)				■北浦に波止場 ■稲積漁港	■余業的に塩田を築造 ・塩田が増加する	・牛を飼育し始める		
	1864年 1868年	馬関戦争・南浦地区大火 明治維新					■姫島村庄屋古庄家 ■入浜式塩田築造 ・他藩にも塩を輸出 ・塩浜紛争	・肉の消費を政府が奨励		
	1875年	『生活』の基盤整備がなされる		■姫島小学校 ■姫島郵便局		▼漁業組合準則	・県下最大の塩田となる ▼姫島塩田会議規則		・漁師から魚を購入し、 島外で売る、島外で日用品 を購入し、漁師に売る	①

各変容期間における生活・生業の特徴

2 産業展開期(1610年－1874年)

【始】農業、漁業の余業的に塩田を築造

江戸－明治 『生業』の基盤整備がなされた期間、**塩田業**や**畜産業**が展開する期間

- ・塩田業は、農業や漁業の**余業**であり、牛が塩田の使役用として飼育されていた
- ・庄屋が生活や生業を支えていた(甘藷導入、波止場や入浜式塩田築造など)
- ・余業であった塩田業が、**本業**となる者も現れ、島外へ塩が運ばれるようになった
- ・庄屋と下作人の間で、土地の所有権について問題が起き始めたのもこの期間である

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	全体	歴史						変容期間	
			生活		生業					
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通	
原始時代	—	姫島の黒曜石が中四国地方へ運ばれる								瀬戸内海 離島拠点期
古代	712年	古事記に姫島が載る								
	720年	日本書紀に比売語曾社が載る			・畑作が中心(弘安図田帳)					
中世	1499年	大友水軍の本拠地の一つだった								
近世	生業の基盤整備始まる						■塩田	・牛の飼育		姫島村産業展開期
	1732年	享保の大飢饉			・甘藷導入					
	1810年	伊能忠敬一行姫島を測量								
	1835年	大風水害(3)				■波止場	■塩田			
	1864年	馬関戦争・南浦地区大火				■稲積漁港				
	1868年	明治維新					■塩浜紛争			
	1875年	『生活』の基盤整備がなされる		■姫島小学校 ■姫島郵便局			・県下最大の塩田となる ▼姫島塩田会議規則		・漁師から魚を購入し、島外で売る、島外で日用品を購入し、漁師に売る	

3 産業近代化発展期(1875年－1936年)

「塩田業」 塩田面積が県下最大となり、姫島塩田会議規則や塩専売法が施行され、**塩生産の安定と塩需要の円滑化**が図られた

「畜産業」 肉牛品評会や競り市が始まり、大正から**良質な肉牛の生産**に取り組んでいた

「商業」 商店主が漁師から海産物を購入し、その海産物を島外で販売し、島外で日用用品を購入し、漁師に販売していた
 漁業組合設立により、海産物の売買は漁業組合が行うようになった

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	全体	歴史						変容期間		
			生活		生業						
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通		
明治	1875年	『生活』の基盤整備がなされる		■姫島小学校 ■姫島郵便局							
	1889年	大分県東国東郡姫島となる		■分教場		▼漁業組合準則 ・漁業期節を定め ■南浦漁港	▼姫島塩田 会議規則			・漁師から魚を購入し、 島外で売る。島外で日用 品を購入し、漁師に売る	産業近代化 発展期
大正	1905年	日露戦争		■姫島灯台	▼農会法 ▼産業組合法	○姫島村漁業組合	○塩業会議所			・魚の商売は漁業組合が 行うようになる	
	1924年	貨客船村宮姫島丸就航		■姫島村役場	○有限姫島信用購買組合	▼新漁業法		○塩業組合	・肉牛品評会 ・牛の競り市		
			■村道大海線(2)		○保証責任姫島村信用 販売購買利用組合	■大海漁港 ■漁業組合事業所 ■西浦漁港			■商店の急増		

各変容期間における生活・生業の特徴

4 戦争閉塞期（1937年－1945年）

【始】支那事変 【終】終戦

支那事変や太平洋戦争の勃発により、『生活』、『生業』が戦時色を帯びる期間

『生活』 護岸や道路整備のほかに、防空壕掘りなど**防空演習**が行われている

「農漁業」 戦時農業団令や水産法団令の施行より、姫島村農業会や姫島村漁業会が**国家的な統制機関**となり、**農作物や海産物**は、**軍隊の食糧**として供出していた

「塩田業」 **男手が不足**し、女性だけでは**塩田作業の継続**が困難とされていた

「商業」 物資が乏しくなり、決められた商店が決められた商品を販売していた

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史							変容期間	
		全体	生活		生業					
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通	
昭和	1937年	支那事変			■事業所移転・事業拡大	○保証責任漁業協同組合	・男手不足 作業継続困難		・物資が乏しくなる 細々と商売する	戦時
	1941年									
	1942年	太平洋戦争		■護岸整備		▼水産法団令				
	1945年	終戦			○農業会	○漁業会				
	1946年	南海大地震			▼戦時農業団令		○姫島製塩株式会社	・豚を一戸に一頭飼育していた	■商店の増加 ・物資が出回るようになる	戦後復興 塩田業終焉期
	1947年	北浦地区大火		■姫島中学校 ■姫島女子 高等家政学院	▼農地改革 ○姫島村農業協同組合	▼水産協同組合法 ○姫島村漁業協同組合	■塩田築造 ■真空式製塩工場 ・インフレに直面し製塩中止			
	1950年	瀬戸内海国立公園に指定 キジヤ台風			・共済事業開始	■築磯、漁礁事業(5)	・村営塩田として再開 ■塩田災害復旧工事 ■蒸気利用式製塩工場			
	1954年	高度経済成長期								
	1957年	離島振興対策実施地域に指定	■北山線(2)	■姫島村国民 診療健康所 ■姫島村保育所	■醤油工場	○大分県保安部姫島事務所		○姫島村商工会 ・大分県商工会連合会に 加入		
	1959年	藍鉄鉱、他1件(県指定天然記念物)					▼塩田整備臨時措置法 ■塩田廃止 ・牛の競り市廃止			

各変容期間における生活・生業の特徴

5 戦後復興塩田業終焉期(1945年－1959年)

【始】終戦 【終】塩田の廃止

『生活』 教育や医療施設の整備が進む

『生業』 戦時中にできた組織を除き、新しい団体や組織が設立し始める期間

「農業」 農地改革によって姫島村農業協同組合が設立する

「漁業」 水産協同組合法が施行され姫島村協同組合が設立する
魚族を保護するために、築磯・漁礁の整備が始まった

表1 生活・生業に関わる歴史的変遷

時代	西暦	全体	歴史						変容期間	
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業		商業・流通
昭和	1937年	支那事変			■事業所移転・事業拡大	○保証責任漁業協同組合	■男手が不足し、塩田作業の継続が困難になる		■物資が乏しくなり、決められた商店が決められた商品を細々と販売	戦争閉塞期
	1941年	太平洋戦争								
	1942年	周防灘台風	■護岸整備(松原、北浦)							
	1945年	終戦	■防空壕掘り							
昭和	1946年	南海大地震	■姫島中学校		▼農地改革	○姫島製塩株式会社	■豚を一戸に一頭飼育していた	■商店の増加	戦後復興塩田業終焉期	
	1947年	北浦地区大火		○姫島村農業協同組合	▼水産協同組合法	■塩田築造 ■真空式製塩工場	■物資が出回るようになる			
	1950年	瀬戸内海国立公園に指定 キジヤ台風		○姫島村漁業協同組合	■塩田として再開	■インフレに直面し製塩中止				
	1954年	高度経済成長期		■共済事業開始	○大分県保安部姫島事務所	■災害復旧工事 ■蒸気利用式製塩工場				
	1957年	離島振興対策実施地域に指定	■姫島国民 保険診療所	■醤油工場				○姫島村商工会 ・大分県商工会連合会に加入		
	1959年	藍鉄鉱、他1件(県指定天然記念物)				▼塩田整備臨時措置法	■塩田廃止	・牛の競り市廃止		

5 戦後復興塩田業終焉期(1945年-1959年)

「塩田業」 姫島製塩株式会社が設立、塩田を築造し、真空式製塩工場が建設されたインフレーションや台風によって製塩中止となったが、復旧し製塩を再開する塩田整備臨時措置法により塩田が廃止、近世より継承されてきた塩田業が終息

「畜産業」 塩田が廃止された同時期に、肉牛の競り市が廃止された

「商業」 戦後商店が増加し、物資が出回るようになり、姫島村商工会が設立した



図3 塩田と製塩工場

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史							変容期間	
		全体	生活		生業					
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通	
昭和 昭和	1937年	支那事変			■事業所移転・事業拡大	○保証責任漁業協同組合	■男手が不足し、塩田作業の継続が困難になる		■物資が乏しくなり、決められた商店が決められた商品を細々と販売	戦争閉塞期
	1941年	太平洋戦争								
	1942年	周防灘台風			・小学校校庭を甘藷畑に	▼水産法団令				
	1945年	終戦	■護岸整備(松原、北浦) ■防空壕掘り ■南一号线		○姫島村農業会	○姫島村漁業会				
	1946年	南海大地震			▼戦時農業団令				戦後復興塩田業	
	1947年	北浦地区大火		■姫島中学校 ■姫島女子高等家政学院	▼農地改革 ○姫島村農業協同組合	▼水産協同組合法 ○姫島村漁業協同組合		・物資が出回る		
	1950年	瀬戸内海国立公園に指定 キジヤ台風								
	1954年	高度経済成長期				■築磯、漁礁事業				
	1957年	離島振興対策実施地域に指定	■北山線(2)	■姫島村国民診療健康所 ■姫島村保育所	・共済事業開始 ■醤油工場	○大分県保安部姫島		○姫島村商工会		
	1959年	藍鉄鉱、他1件(県指定天然記念物)						■塩田廃止		■肉牛の競り市廃止

4 産業構造の変遷からみる景観変容期間の抽出

各変容期間における生活・生業の特徴

7 姫島村景観保存・継承期(1980—)

【始】大分県一村一品運動開始

大分県一村一品運動が開始し、姫島村の車えびが対象となる

日本ジオパークに認定されるなど、姫島村の文化や景観の価値の保存が盛んになる期間
第二期原風景形成期と同様に『生活』『生業』ともに基盤整備が継続して進められている

表1 生活・生業に関わる歴史の変遷

時代	西暦	歴史							変容期間
		全体	生活		生業				
			社会基盤	施設	農業	漁業	塩田業・えびの養殖業	畜産業	商業・流通
		大分県一村一品運動	■古浜線(14) ■海底送電ケーブル ■大海溜池改修工事 ■長尾トンネル	■姫島中学校(14)	■農業倉庫	■蓄養施設(4)■築	姫島の車えび	センター 一村一品運動に	
1983年	こども神楽、村指定文化財に			■ニンニク倍増運動講習会	■漁船漁具保全施設(2)	■稚えびふ化場			
1984年	空き缶デポジット制度導入			■農協農産物出荷所 ■農協事業所改築	■姫島西浦西防波堤灯台				
1990年	姫島庄屋古庄家、他1件(村指定有形文化財)		■フェリーボード		■漁具倉庫(4) ■水産物鮮度保持施設 ■船揚施設(3) ■共同作業所(2)	■車えび養殖場			
2006年	地域再生マネージャー事業		■緊急防災システム ■CATV網		■燃油タンク ■製水貯水施設 ■水産加工場				○はりこもう会 ○島の風LLP(他2団体) ○女将の会
2007年	観音崎一帯、国指定天然記念物に								
2010年	あったかな村事業								
		日本ジオパーク認定							
2014年	文化的景観事業								

文化的景観に関する既往研究

地域の伝統的な生業である窯業に注目し、山口¹⁾は小鹿田焼の里皿山について、現在の景観構成要素と作業工程の関係のひもとき、丸谷²⁾は小石原焼の里について、作業工程の変遷を明らかにすることで、生業と文化的景観の関係を明らかにした研究がある

しかし、景観の変容過程を明らかにするためには、伝統的な生業だけでなく、地域の主産業に関する変遷を総合的に整理することが必要である

麻生³⁾、山口⁴⁾は、地形図、土地台帳、幕末地図などの古地図から土地利用と空間構成の変遷を整理し、景観の変容過程を解明している

地図資料の少ない地域においては、空間構成の変遷の解読が困難である

この状況に対して山崎⁵⁾は、地図資料の少ない戦前からの開拓村の形成過程を、古地図による平面的な把握ではなく、古写真を用いて空間的変遷の解読を試みている



本研究は、対象地の主産業を総合的に整理した点、地図資料の少ない対象地において古写真から立体的に空間構成を明らかにした点が特徴的である

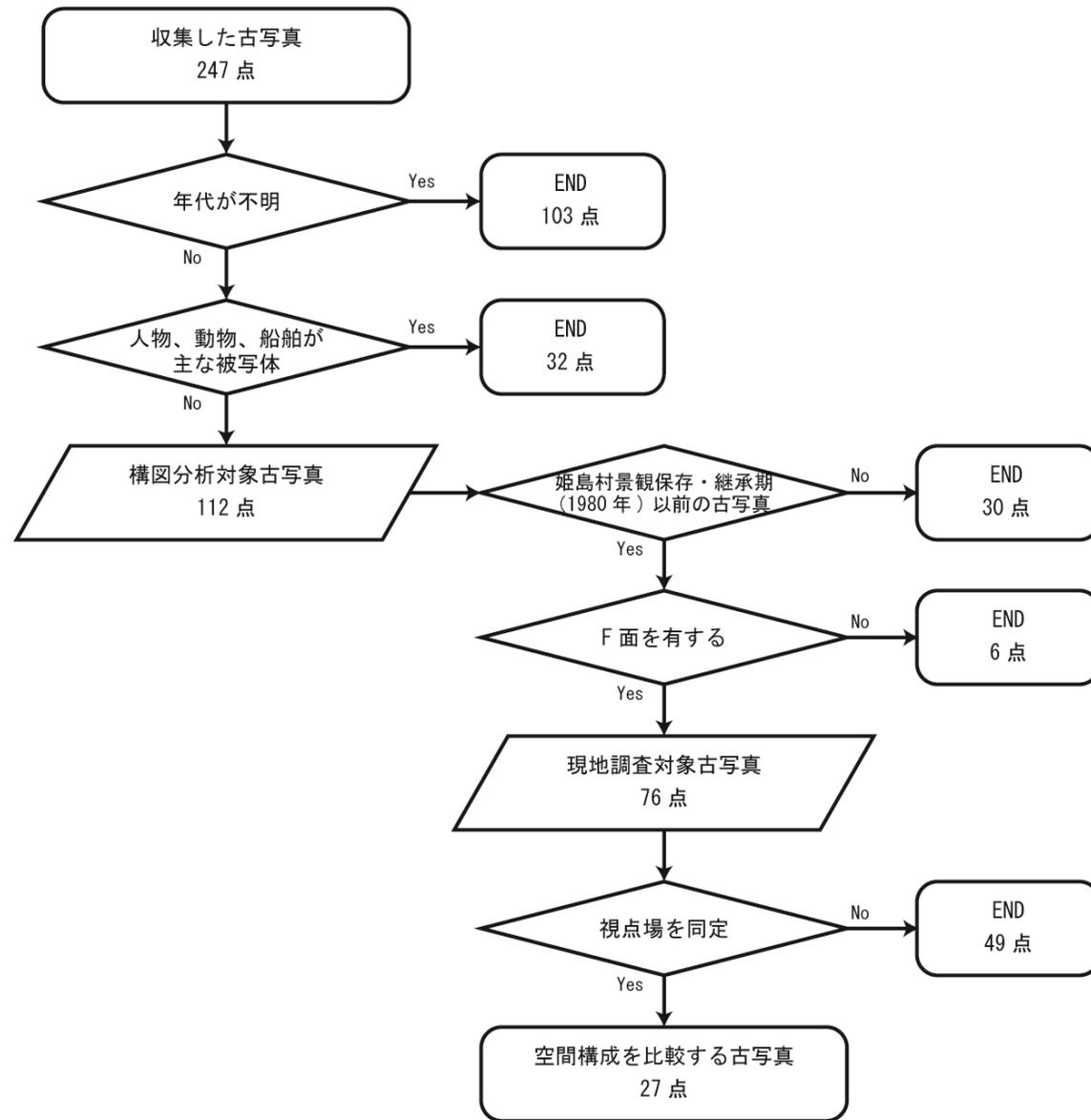
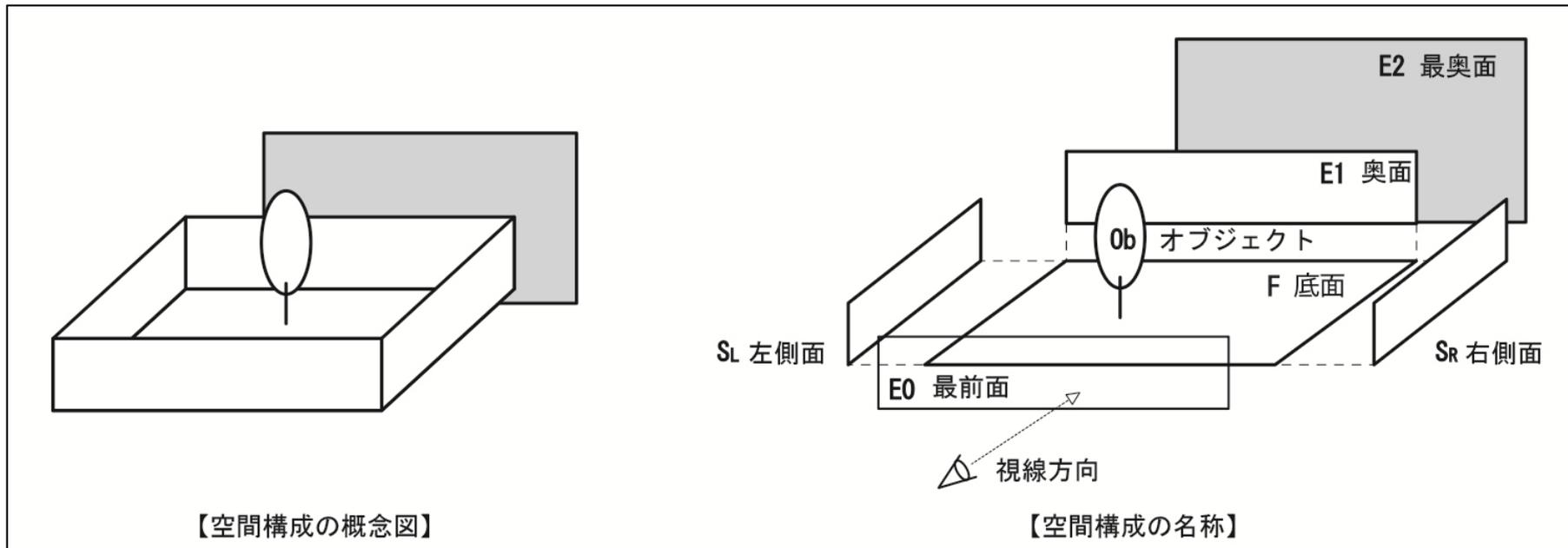


図4 古写真の選定フロー

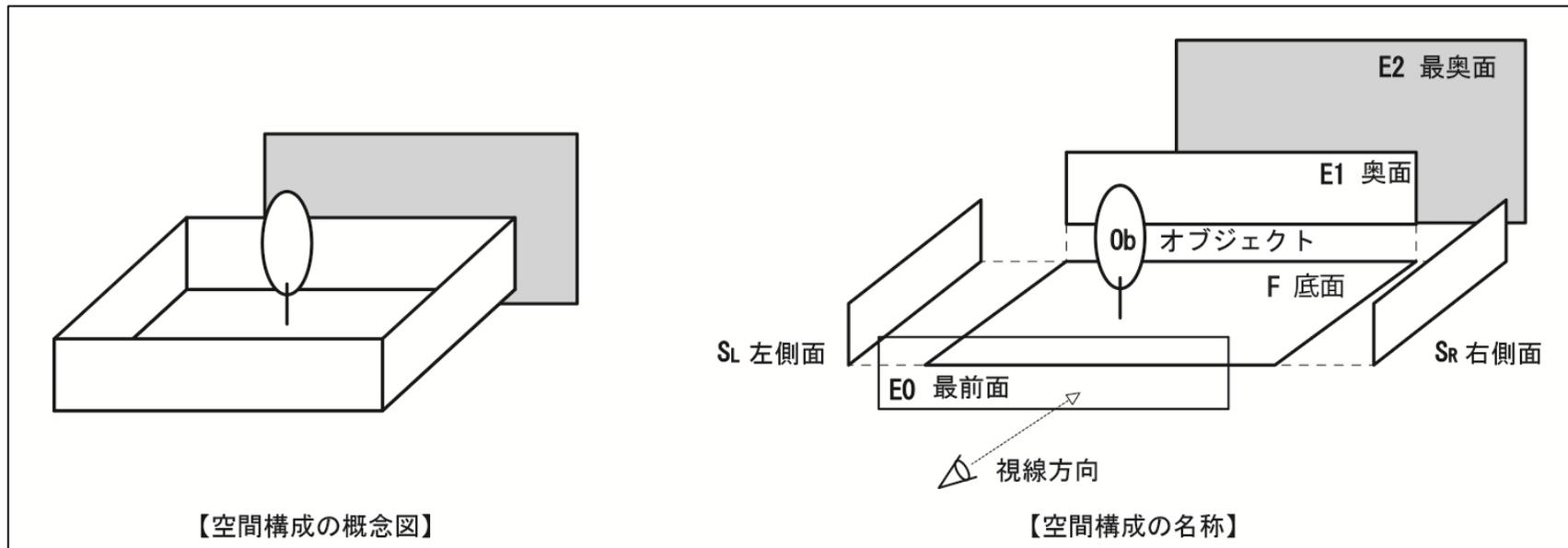
第四章 古写真からみる空間構成の特徴

リデュース法※について



- ① 通常3次元の空間を2次元の画像面に撮影した景観画像を3次元に復元し、景観の複雑な実空間を簡易的な3次元モデルとして把握する
- ② 画像に見られる景観の構図や空間構成を立体的に把握する
- ③ 6つの面(E0,SL,SR,F,E1,E2)とオブジェクト(Ob)の「どの組み合わせによって景観が構成されているのか」、また「構成された空間の、どの場所にどういった構成要素が存在しているか」を把握する

※姫野由香、佐藤誠治、小林祐司、金キョン希「観光資源が写された景観画像の構図解析手法」
日本建築学会計画系論文集第569号、139-145、2003年7月



構成面の定義

E0(最前面): 画像を構成する景観構成要素のうち、最も手前にあり、基本的に視線方向に立ちはだかるように垂直に立っているもの。

SL、SR(左側面、右側面): 画像の縁から視線方向に伸びるように連続して見える景観構成要素で、基本的に視線を遮らないように立ち上がっているもの。

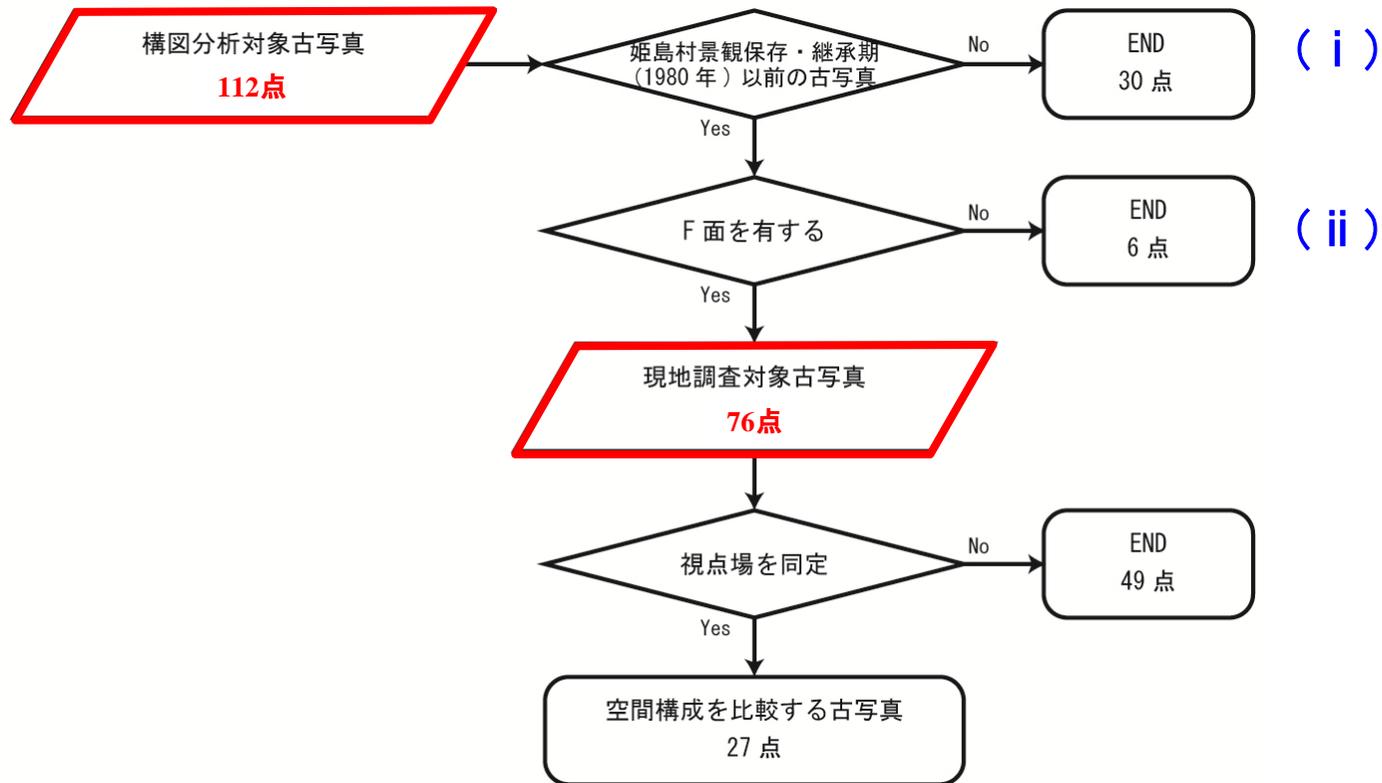
F(底面): 視線方向に立ちはだかることのない要素で、地表面や水面のように水平面を構成しているもの。面的な景観構成要素(海や田など)や、線的な景観構成要素(道路や川など)。

E1(奥面): 視線方向に立ちはだかるように垂直に立ち、E0(最前面)に投影される景観構成要素の奥に存在するもの。

E2(最奥面): 視線方向と大きな角度を持って垂直方向に立ちはだかっており、E1(奥面)より、更に奥に存在する景観構成要素(E1と違い、手前にF(底面)のような分布はない)。

Ob(オブジェクト): F(底面)にのるように存在する景観構成要素。この場合、必ずFに投影される面的景観構成要素が写真から見て取ることができ、画像からObの前後にFが認められる。

第五章 現況写真と古写真の比較による空間構成の変遷



姫島村の景観の空間構成の変遷を辿るために、構図分析の対象とした古写真112点を、現地調査によって古写真の視点場を同定し、現況写真を撮影し空間構成を比較する。

(i) 第三章で明らかにした景観変容期間ごとに変遷を把握する。つまり現況写真は、姫島村景観保存・継承期(1980年～)に分類されるため、この期間の古写真30点を除く。

(ii) 立体的な空間構成が把握できないため、構図分析においてF面を有しない古写真6点を除く。

第四章 古写真からみる空間構成の特徴

D類 (二面+Ob)



主に奥面(E1,E2)に「山地」、「建造物」、「堤防」が分布し、底面(F)に「海」が分布している空間構成が特徴的である。Obは「建造物」や「漁礁・波止場」などの不動産よりも「船」などの動産の出現率が高い傾向にあった。

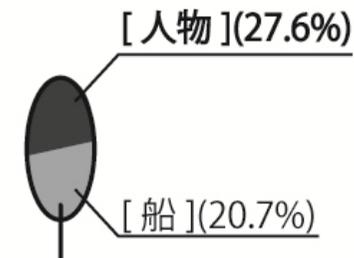
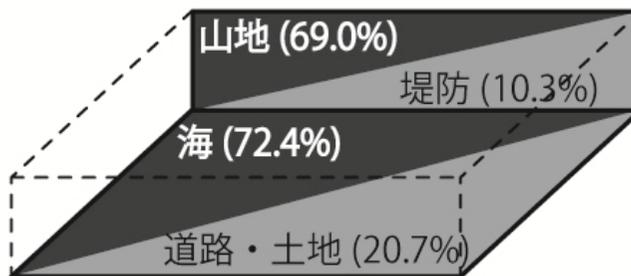


構図タイプに占める
出現率が最上位の
景観構成要素



構図タイプに占める
出現率が第2位の
景観構成要素

※動産である景観構成要素は
[]で示す



【構成面の凡例】

【D類 (二面+Ob)】

重要文化的景観制度における本研究の位置づけ

本研究の対象地である大分県姫島村は、大分県北東部に位置する瀬戸内海の離島である。離島における景観は文化的景観の中でも海に囲まれた地理特性により、歴史、文化、伝統、風土などが蓄積されており、離島での生業や社会基盤の変化から受ける影響が明瞭であると考えられる

重要文化的景観選定にあたって、大きく3段階、9つの事項が必要となる。

(1) 文化的景観の調査により価値の証明を行い、それから文化的景観の保存管理に関する内容を設定

- ① 景観行政団体への移行
- ② 景観法で景観計画区域または景観地区の中に文化的景観を設定
- ③ 文化的景観に関する調査を行い、景観保存管理のための調査報告書の作成

(2) 選定の申出に係る文化的景観の保存に関する計画(=文化的景観保存計画)を策定

- ④ 文化的景観保存計画の策定
- ⑤ 文化的景観に必要な措置、条例等を制定

(3) 文化的景観の所有者または権原に基づく占有者(管理者がいる場合には、当該管理者を含む。以下、「所有者等」という。)の氏名または名称及び住所を把握

- ⑥ 文化的景観の重要な構成要素に係る所有者等の合意
- ⑦ 文部科学大臣あてに国重要文化的景観の選定について申出
- ⑧ 文化審議会による諮問・答申
- ⑨ 重要文化的景観に選定

本研究の目的は、「③文化的景観に関する調査を行い、景観保存管理のための調査報告書を作成」に深く関わり、姫島村の文化的価値を正しく評価し証明することに意義がある。

語句

選択無形文化財：

重要無形民俗文化財以外の無形の民俗文化財のうち、記録、保存、公開に対して経費の一部を公費による補助を受けることができるものとして、文化審議会の答申に基づき文化庁長官によって選択された文化財をいう

ジオパーク：

地球科学的に見て重要な自然の遺産を含む、自然に親しむための公園。地球科学的に見て重要な特徴を複数有するだけでなく、その他の自然遺産や文化遺産を有する地域が、それらの様々な遺産を有機的に結びつけて保全や教育やツーリズムに利用しながら地域の持続的な経済発展を目指す仕組み。

入浜塩田：

潮の干満の差を利用して、塩田に海水を引き入れし、塩を採る方法

風水害：

強風と豪雨による災害、高潮によるものも含めていう

第1種兼業農家：

兼業農家のうち、主な所得を農業から得ている家のこと。農業ではない仕事からの所得が主となっている兼業農家は第2種兼業農家という

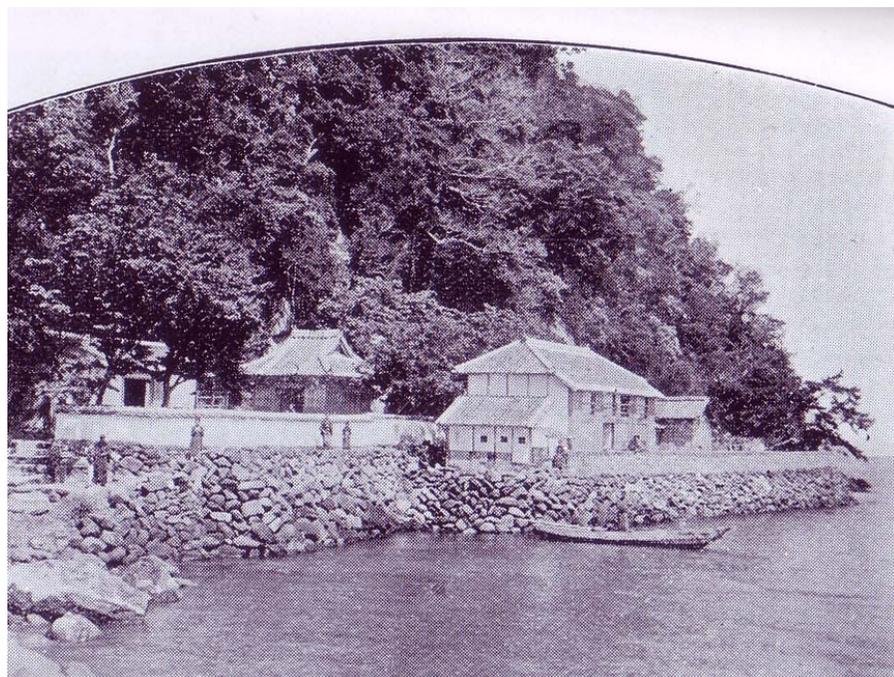
古地図の汎用性

例えば長崎大学付属図書館では、「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」において、日本国内で撮影された6000枚に及ぶ写真が公開されるなど、近年古写真の資料としての価値に注目が集まっている

現況写真比較からみる空間構成の変遷(比較写真の例)



現況写真比較からみる空間構成の変遷(比較写真の例)



重要文化的景観とは

近年都市化や工業化が進み、各地域の個性や特徴が喪失

各地域の人々の生活や風土に深く結びついた地区特有の景観の重要性の見直し

それをどのように保護していくのかが重要なテーマになってきた

2005年 文化財保護法改正

文化的景観とは・・・

「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの」

(文化財保護法第二条第一項第五号より)

生活・生業の中で変化することを本質とする文化的景観は、保全すべき対象が自明ではなく、その価値の根本が複雑である

(奈良文化財研究所「文化的景観研究集会(第2回)報告書 巻頭言」より)

文化的景観の中でも特に重要なものは、「重要文化的景観」として選定される

(文化財保護法第134条第一項より)

全国の重要文化的景観



別府の湯けむり温泉地景観



小鹿焼の里 池の鶴地区



田染荘小崎の農村景観

番号	重要文化的景観	選定地		選定年月日	
		地方			
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	北海道・東北地方	北海道沙流郡平取町	平成19年7月26日	
2	一関本寺の農村景観		岩手県一関市	平成18年7月28日	
3	遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落		岩手県遠野市	平成20年3月26日 追 平成21年2月12日 追 平成25年3月27日	
4	最上川の流通・往来及び左沢町場の景観	中部地方	山形県西村山郡大江町	平成25年3月27日	
5	利根川・渡良瀬川合流域の水場景観		群馬県邑楽郡板倉町	平成23年9月21日	
6	佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観		新潟県佐渡市	平成23年9月21日	
7	佐渡川の鉱山及び鉱山町の文化的景観		新潟県佐渡市	平成27年10月7日	
8	金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化		石川県金沢市	平成22年2月22日	
9	大沢・上大沢の間垣集落景観		石川県輪島市	平成27年10月7日	
10	姥捨の棚田		長野県千曲市	平成22年2月22日	
11	小菅の里及び小菅山の文化的景観		長野県飯山市	平成27年1月26日	
12	長良川中流域における岐阜の文化的景観		岐阜県岐阜市	平成26年3月18日 平成18年1月26日 追 平成18年7月28日 追 平成19年7月26日	
13	近江八幡の水郷		近畿地方	滋賀県近江八幡市	平成20年3月28日
14	高島市海津・西浜・知内の水辺景観			滋賀県高島市	平成22年8月5日
15	高島市針江・霧降の水辺景観			滋賀県米原市	平成26年3月18日
16	東草野の山村景観	滋賀県長浜市		平成26年10月6日	
17	菅浦の湖岸集落景観	滋賀県高島市		平成27年1月26日	
18	大溝の水辺景観	京都府宇治市		平成21年2月12日	
19	宇治の文化的景観	京都府宮津市		平成26年3月18日	
20	宮津天橋立の文化的景観	京都府京都市		平成27年10月7日	
21	京都岡崎の文化的景観	大阪府泉佐野市		平成25年10月17日	
22	日根荘大木の農村景観	兵庫県朝来市		平成26年3月18日	
23	生野鉱山及び鉱山町の文化的景観	奈良県高市郡明日香村		平成23年9月21日	
24	奥飛鳥の文化的景観	和歌山県有田郡有田川町		平成25年10月17日	
25	簡島及び三田・清水の農山村景観	島根県仁多郡奥出雲町		平成26年3月18日	
26	奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観	中国・四国地方		徳島県勝浦郡上勝町	平成22年2月22日 追 平成10月17日
27	椋原の棚田及び農村景観 (旧名称 椋原の棚田)		愛媛県宇和島市	平成19年7月26日	
28	遊子水荷浦の段畑		高知県高岡郡津野町	平成21年2月12日	
29	四万十川流域の文化的景観 源流域の山村		高知県高岡郡湊原町	平成21年2月12日	
30	四万十川流域の文化的景観 上流域の山村と棚田		高知県高岡郡中土佐町	平成24年1月24日 追	
31	四万十川流域の文化的景観 上流域の農山村と流通・往来		高知県高岡郡四万十町	平成21年2月12日	
32	四万十川流域の文化的景観 中流域の農山村と流通・往来		高知県高岡郡四万十町	平成23年9月21日 追	
33	四万十川流域の文化的景観 下流域の生業と流通・往来		高知県高岡郡四万十町	平成21年2月12日	
34	久礼の港と漁師町の景観		高知県高岡郡中土佐町	平成23年2月8日	
35	求菩提の農村景観		九州地方	福岡県豊前市	平成24年9月19日
36	藤野の棚田	佐賀県唐津市		平成20年7月28日	
37	平戸島の文化的景観	長崎県平戸市		平成22年2月22日 追 平成22年8月5日	
38	小値賀諸島の文化的景観	長崎県北松浦郡小値町		平成23年2月7日 追 平成23年9月21日	
39	佐世保市黒島の文化的景観	長崎県佐世保市		平成23年9月21日	
40	五島市久賀島の文化的景観	長崎県五島市		平成23年9月21日	
41	新上五島町北魚目の文化的景観	長崎県南松浦郡新上五島町		平成24年1月24日	
42	長崎市外海の石積集落景観	長崎県長崎市		平成24年9月20日	
43	新上五島町崎浦の五島石集落景観	長崎県南松浦郡新上五島町		平成24年9月19日	
44	通潤用水と白糸台地の棚田景観	熊本県上益城郡山都町		平成20年7月28日 追 平成21年7月23日 追 平成22年2月22日	
45	天草市崎津・今富の文化的景観 (旧名称：天草市崎津の漁村景観)	熊本県天草市		平成23年2月7日 追 平成24年9月19日	
46	三角浦の文化的景観	熊本県宇城市		平成27年1月26日	
47	小鹿田焼の里	大分県日田市		平成20年3月28日	
48	田染荘小崎の農村景観	大分県豊後高田市		平成22年8月5日	
49	別府の湯けむり・温泉地景観	大分県別府市		平成24年9月19日	
50	酒谷の坂元棚田及び農山村景観	宮崎県日南市	平成25年10月17日		

重要文化的景観の名称/選定地/選定年月日

【参考文献】

山口知恵，松本将一郎，西山徳明 「小鹿田焼の里皿山における伝統的な生業の持続と文化的景観の保全に関する研究」 日本建築学会計画系論文集第74巻第644号，2215-2222，2009年10月

丸谷耕太，山下三平，内山忠，小川勇樹 「小石原焼の里における作陶に関わる文化的景観の変容に関する研究」 公益社団法人日本都市計画学会都市計画論文集第49号第1号，2014年4月

麻生美希，増原実樹，佐藤睦美，西山徳明 「農村集落における空間構成の変遷と景観保全の課題」 日本建築学会計画系論文集第74巻第646号，2637-2645，2009年12月

山口知恵，大森洋子，西山徳明 「鹿児島県奄美市赤木名における生業と空間構成」 日本建築学会計画系論文集第78巻第689号，1579-1587，2013年7月

山崎義人 「古写真を通じた戦前からの開拓村の形成過程の解読方法－兵庫県三田市下相野平野集落を事例として－」 日本建築学会計画系論文集第76巻第664号，1137-1144，2011年6月